

# 四半期報告書

(第69期第1四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

**マナック株式会社**

# 目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報	1
第1 企業の概況	1
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1
第2 事業の状況	2
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	3
1 株式等の状況	3
(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	3
(4) ライツプランの内容	3
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	3
(6) 大株主の状況	3
(7) 議決権の状況	4
2 役員の状況	4
第4 経理の状況	5
1 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
2 その他	12
第二部 提出会社の保証会社等の情報	13

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成25年8月12日
【四半期会計期間】	第69期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	マナック株式会社
【英訳名】	MANAC INCORPORATED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉之原 祥二
【本店の所在の場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084（954）3330（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 杉之原 誠
【最寄りの連絡場所】	広島県福山市箕沖町92番地
【電話番号】	084（954）3330（代表）
【事務連絡者氏名】	管理部長 杉之原 誠
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第1四半期連結 累計期間	第69期 第1四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	2,423,204	2,255,256	9,240,909
経常利益（千円）	96,163	38,241	313,258
四半期（当期）純利益又は四半期純 損失（△）（千円）	58,251	△19,561	171,441
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	△68,765	32,996	373,860
純資産額（千円）	8,473,141	8,888,392	8,895,598
総資産額（千円）	12,090,144	12,445,725	12,168,180
1株当たり四半期（当期）純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 （△）（円）	7.25	△2.43	21.34
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	70.1	71.4	73.1

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融政策から株価上昇や円安の進行により今後の企業業績の回復が期待されておりますが、現時点では、景気の回復を実感するまでには至っておらず、不透明な状況で推移いたしました。

このような経済状況において当社グループは、新しいマーケットの開拓とニーズの発掘に積極的に取り組んでまいりましたが、需要の低迷や高付加価値製品の伸び悩みにより業績は低調に推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,255百万円（前年同四半期比△167百万円、6.9%減）となり、営業損失は6百万円（前年同四半期は営業利益21百万円）、経常利益は38百万円（前年同四半期比△57百万円、60.2%減）となりました。四半期純損失は、平成25年6月16日に当社連結子会社である八幸通商株式会社鹿島工場で発生した倉庫火災事故による特別損失を計上したことから、19百万円（前年同四半期は四半期純利益58百万円）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業のうち、医薬関連製品は経済環境に大きく左右されることなく堅調に推移いたしました。電子材料や機能材料が液晶テレビやパソコン、携帯移動端末などの需要の低迷により、当社製品につきましても厳しい環境となりました。

その結果、売上高は1,235百万円（前年同四半期比△124百万円、9.2%減）、セグメント利益は74百万円（同△34百万円、31.8%減）となりました。

#### ②難燃剤事業

難燃剤事業につきましては、IT産業関連製品や家電製品に使用される高機能プラスチック用難燃剤の需要が縮小しており、依然、当社製品に厳しい環境が続いております。

その結果、売上高は718百万円（前年同四半期比△48百万円、6.4%減）、セグメント利益は68百万円（同△4百万円、5.6%減）となりました。

#### ③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業につきましては、人工透析薬剤の原料として国内需要が安定して推移いたしました。

その結果、売上高は300百万円（前年同四半期比+5百万円、1.9%増）、セグメント利益は33百万円（同△1百万円、3.7%減）となりました。

#### (2) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて277百万円増加し、12,445百万円となりました。これは主に製品、仕掛品が増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて284百万円増加し、3,557百万円となりました。これは主に、製品、仕掛品の増加に伴い買掛金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて7百万円減少し、8,888百万円となり、大きな変動はありませんでした。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、87百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,200,000
計	23,200,000

###### ②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,625,000	8,625,000	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数 100株
計	8,625,000	8,625,000	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	8,625,000	—	1,757,500	—	1,947,850

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 590,700	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,011,900	80,119	—
単元未満株式	普通株式 22,400	—	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	8,625,000	—	—
総株主の議決権	—	80,119	—

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
マナック株式会社	広島県福山市箕沖町92番地	590,700	—	590,700	6.85
計	—	590,700	—	590,700	6.85

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。



1 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,179,395	1,297,468
受取手形及び売掛金	2,862,962	2,797,515
有価証券	268,524	240,036
金銭の信託	1,100,000	1,000,000
商品及び製品	1,058,135	1,219,316
仕掛品	450,622	564,220
原材料及び貯蔵品	420,225	377,189
繰延税金資産	96,374	90,850
その他	118,862	116,466
貸倒引当金	△2,486	△2,508
流動資産合計	7,552,615	7,700,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,077,121	1,070,115
機械装置及び運搬具（純額）	588,822	580,094
土地	1,138,740	1,138,740
建設仮勘定	48,235	32,007
その他（純額）	174,516	163,528
有形固定資産合計	3,027,435	2,984,486
無形固定資産	2,774	2,750
投資その他の資産		
投資有価証券	1,265,214	1,437,154
関係会社長期貸付金	109,350	109,200
繰延税金資産	1,462	—
その他	209,928	212,180
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,585,355	1,757,935
固定資産合計	4,615,565	4,745,172
資産合計	12,168,180	12,445,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,220,168	1,497,646
短期借入金	912,269	1,011,490
未払法人税等	25,316	6,990
賞与引当金	114,157	51,794
その他	497,664	507,849
流動負債合計	2,769,575	3,075,772
固定負債		
長期借入金	196,948	178,037
繰延税金負債	18,332	27,967
役員退職慰労引当金	54,729	54,729
負ののれん	40,542	30,406
その他	192,454	190,420
固定負債合計	503,006	481,560
負債合計	3,272,582	3,557,332
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,255,287	5,195,554
自己株式	△243,705	△243,735
株主資本合計	8,716,931	8,657,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	135,797	155,503
繰延ヘッジ損益	3,994	—
為替換算調整勘定	38,874	75,720
その他の包括利益累計額合計	178,666	231,224
純資産合計	8,895,598	8,888,392
負債純資産合計	12,168,180	12,445,725

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,423,204	2,255,256
売上原価	1,985,720	1,867,623
売上総利益	437,484	387,632
販売費及び一般管理費	416,227	394,580
営業利益又は営業損失(△)	21,257	△6,948
営業外収益		
受取利息	1,359	1,495
受取配当金	11,655	10,141
為替差益	—	18,791
負ののれん償却額	10,135	10,135
受取ロイヤリティー	9,285	9,285
受取保険金	31,000	—
その他	25,584	6,865
営業外収益合計	89,021	56,714
営業外費用		
支払利息	5,548	4,921
為替差損	7,400	—
デリバティブ評価損	1,004	6,242
その他	160	361
営業外費用合計	14,114	11,525
経常利益	96,163	38,241
特別利益		
固定資産売却益	—	9
特別利益合計	—	9
特別損失		
固定資産除却損	579	—
投資有価証券売却損	728	—
災害による損失	—	45,140
特別損失合計	1,307	45,140
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	94,856	△6,889
法人税、住民税及び事業税	30,735	4,494
法人税等調整額	5,868	8,177
法人税等合計	36,604	12,672
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,251	△19,561

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	58,251	△19,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94,774	19,706
繰延ヘッジ損益	△11,127	△3,994
為替換算調整勘定	△21,115	36,846
その他の包括利益合計	△127,017	52,557
四半期包括利益	△68,765	32,996
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△68,765	32,996
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	69,673千円	68,688千円
負ののれんの償却額	10,135	10,135

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	40,172	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	40,171	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,360,292	767,432	295,479	2,423,204
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,360,292	767,432	295,479	2,423,204
セグメント利益	109,898	72,773	35,163	217,835

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	217,835
全社費用（注）	△196,578
四半期連結損益計算書の営業利益	21,257

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	1,235,805	718,479	300,971	2,255,256
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,235,805	718,479	300,971	2,255,256
セグメント利益	74,917	68,689	33,875	177,483

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	177,483
全社費用（注）	△184,431
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△6,948

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額(△)	7円25銭	△2円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△) (千円)	58,251	△19,561
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額(△)(千円)	58,251	△19,561
普通株式の期中平均株式数(株)	8,034,484	8,034,250

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月9日

マナック株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

柴田 良智

印

指定有限責任社員  
業務執行社員

公認会計士

中原 晃生

印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマナック株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マナック株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。